

EXPO2026

やまがたITソリューション

県内最大級のITソリューション展示会

「地域の力を高めるデジタル変革と共創
現場で使えるAI・DXがここにある」

日時 2026年 **10月14日(水)** 10:30～17:00

会場 **山形国際交流プラザ** (ビッグウイング) 1階【第1集会展示場】

展示会

1階／第1集会展示場／展示ブース

10:30～17:00 **ITソリューション展示会**

DX・AIソリューションを多数展示。出展企業は <https://www.yiia.or.jp/> をご覧ください。

講演会 (講演内容詳細は裏面をご覧ください)

1階／第1集会展示場／セミナーブース

11:00～12:00 **YAMAGATA AI/DXショーケース ～デジタル変革の舞台裏～**

- | | |
|--------------|--|
| NTT東日本株式会社 | 「NTT東日本が実践する生成AI活用の現在地
～業務変革と価値創造への挑戦～」 |
| 山形パナソニック株式会社 | 「AIはクマから人を守るのか？
～AI技術で挑むクマ検出システム「kumAIda」(クマイダー)の開発～」 |
| アインテック株式会社 | 「XR技術を活用した観光地の魅力発信」 |

13:00～13:10 開会行事

13:10～14:10 **基調講演**

「未来から考える
～バックキャストで創る山形の未来～」

国立大学法人山形大学 フェロー
未来創造ラボラトリーディレクター **城戸 淳二 氏**



15:00～16:00 **特別講演**

「山形における宇宙産業の未来」

国立大学法人山形大学
一般財団法人森の学校寄附講座教授 **亀井 信一 氏**



主催 一般社団法人山形県情報産業協会

共催 山形県DX推進ラボ、公益社団法人日本ICTテレコムユーザー協会

後援 山形県、公益財団法人やまがた産業支援機構、山形県商工会議所連合会、山形県商工会連合会、山形県中小企業団体中央会、山形県工業会、5G・IoT・AIコンソーシアム
特定非営利活動法人ロボットビジネス支援機構(RobiZy)、山形新聞・山形放送、一般社団法人山形県経営者協会、一般社団法人山形県中小企業家同友会、山形経済同友会(順不同)



山形大学フェロー
未来創造ラボラトリー
ディレクター

き ど じゅんじ
城戸 淳二 氏

「未来から考える ～バックキャストで創る山形の未来～」

■ 講演概要

AIやデジタル技術の急速な進歩により、社会や産業のあり方は大きく変わろうとしています。しかし、重要なのは新しい技術を導入すること自体ではなく、「どのような未来を実現したいのか」を明確に描き、そこから現在やるべきことを考えることです。本講演では、現在から未来を予測する「フォアキャスト」ではなく、まず実現したい未来を描き、そこから逆算して必要な技術や行動を考える「バックキャスト」という発想について紹介します。有機EL(OLED)の研究開発や実用化に携わってきた経験を例に、未来の姿を描くことが新しい技術やイノベーションを生み出す原動力となることを紹介するとともに、AI・DXを単なる効率化のためのツールではなく、新しい価値や産業を生み出すための手段としてどのように活用すべきかを考えます。そして、人口減少や人手不足など多くの課題を抱える地方だからこそ、AI・DXを活用して新しい未来を創り出す可能性があります。山形の企業、地域、そして一人ひとりが自ら未来を描き、その実現に向けて行動することの重要性についてお話しします。

【講師プロフィール】1984年早稲田大学理工学部応用化学科卒業。1989年、米国Polytechnic University(現New York University)にてPh.D.を取得。同年、山形大学工学部助手に着任し、1995年助教授、2002年教授、2011年卓越研究教授を経て、2024年より山形大学フェロー。有機EL(OLED)を中心とする有機エレクトロニクスの研究開発に長年従事。1993年に世界に先駆けて白色有機ELを開発するなど、基礎研究から材料・デバイス開発、実用化・事業化まで幅広く取り組んできた。また、産学官連携による研究開発や地域産業の創出にも力を注ぎ、山形から世界へ新しい技術と産業を発信する活動を続けている。現在は、これまでの経験をもとに次世代の人材育成や新産業創出にも取り組んでいる。



山形大学
一財)森の学校寄附講座
教授

かめ い しんいち
亀井 信一 氏

「山形における宇宙産業の未来」

■ 講演概要

山形県は、住宅延べ面積や病床数、乗用車保有台数といった「生活指標(暮らしやすさ)」で全国トップクラスの水準にあります。一方で、一人当たり所得や商品販売額などの「経済指標」は全国平均の7～8割にとどまっているのが現状です。この課題を打開するには、産業構造を根本から改革する必要があります。私たちはその第一歩として「宇宙」に着目しました。人工衛星の開発にとどまらず、「山形における宇宙利活用の推進」と「青少年への普及啓発(人づくり)」に注力しています。現代の宇宙産業は、ハードウェアから数十倍の市場規模を持つ「データ利活用・サービス」へと主戦場がシフトしています。本講演では、山形の宇宙の未来像や「宙(そら)の種」の取り組みとともに、私共の「社会実装論」に基づいた新しい衛星計画についてもお話しします。

【講師プロフィール】1986年東北大学大学院理学研究科修了。同年、三菱総合研究所に入社。理学博士。社会システム分析や技術予測を専門とし、宇宙実験・分子ナノテクノロジー、研究開発戦略、科学技術政策などの研究に従事。同社にて先端科学研究センター長、人間・生活研究本部長、政策・経済研究センター長、研究理事などを歴任し現職。兼務として、日本ケアコミュニケーションズ取締役(三菱総合研究所とNDソフトウェアの合併企業)、九州大学未来社会デザイン統括本部ディレクター(客員教授)などを務める。現在は、先端科学技術の進展を見据えた長期未来予測と、技術の社会実装・事業化を主な研究テーマとしている。山形県新庄市出身。将棋六段。

ショーケース①

「NTT東日本が実践する生成AI活用の現在地」 ～ 業務変革と価値創造への挑戦 ～

NTT東日本株式会社 宮城事業部 宮城支店
ビジネスイノベーション部
ビジネス企画担当

鉄本 良 氏

生成AIはチャット活用からAIエージェントによる業務変革の時代へ。本講演では、NTT東日本における生成AI活用の最新動向や社内事例、顧客向けAI案件事例を紹介いたします。さらに、AIを活用した業務アプリやワークフローを実現するエージェント型AIの基盤「Kanade」についても解説し、生成AIによる価値創造の可能性をお伝えします。

ショーケース②

「AIはクマから人を守るか？」 ～ AI技術で挑むクマ検出システム 「kumAIda」(クマイダー)の開発 ～

山形パナソニック株式会社
東北支店 仙台営業所
ソリューション営業課

武田 信 氏

社会課題となっているクマ被害に対し、2種類のAIを活用した高精度なクマ検出技術と、検出した情報を人の安全な行動につなげる情報プラットフォームを開発。その背景やシステムの概要、社会実装に向けた取り組みの現状をご紹介します。

ショーケース③

「XR技術を活用した観光地の魅力発信」

アイネット株式会社
取締役

照井 潤 氏

ARコンテンツ(多言語デジタルガイドや過去の情景再現)やデジタルマップ(GIS)等、構築事例をご紹介します。

■お申込先及びお問い合わせ先

Webサイトからのお申し込みはこちらから!

山形県情報産業協会

検索

<https://www.yiia.or.jp/>

メールでもお申し込みできます。

E-mail: info@yiia.or.jp

こちらから
お申し込み



一般社団法人山形県情報産業協会 事務局

山形市松波四丁目5番12号 (株)YCC情報システム内 TEL:023-687-1444

紹介企業・団体